

第 59 号

Super Highway

# 春闘速報 6

発行日  
2023. 3.10

J R 東労組バス関東本部

## 申 6 号「2023 年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」 第 1 回団体交渉（趣旨説明）を行う

組

- ①1 月 27 日に出された第 3 四半期決算では、運輸収入が対前年比 1 4 4, 6%営業収益で対前年比 1 3 5, 7%と昨年の同時期よりも収入は着実に回復している。
- ②今年度の目標としていた単月黒字を 12 月に達成している。これは、要員不足の中で休日出勤や圧縮行路、他支店への助勤等を組合員・社員が担ってきた結果である。
- ③新型コロナウイルス感染症が 5 類へと変更されれば、インバウンドのお客様も増加することが期待される。組合員・社員の労働実感は更に向上する。
- ④長引くコロナ禍の影響もあり、生活給の一部でもある期末手当は低額の回答となり、組合員の実質賃金は大きく目減り。生活への不安・モチベーション低下により退職を決断した社員も少なくない。
- ⑤全行的にバス運転手不足が問題になっている中で、人材の確保と雇用の定着は労使共通の課題である。

合

会

社

- ①3 年間にわたるコロナ禍の中、厳しい状況を全社員の皆様のおかげで乗り越えて明るい兆しが見えてきた。
- ②2023 春闘は、昨年に引き続き政府・経団連からデフレ脱却のため賃上げ要請があるのは承知している。
- ③ウクライナ情勢や半導体供給不足などの要因により物価上昇しているという認識はある。
- ④2022 年 12 月は、35 か月振りの単月黒字を達成したが、1 月 2 月と赤字であり、年度決算は赤字。3 期連続赤字決算が確定的である。
- ⑤該当者が増加する事も踏まえ、55、57 歳減額制度について会社持ち出しにより改訂した。更なる改善についても問題意識はあるが、総額人件費の中で考えていかなければならない。
- ⑥賃金が低いという事が離職の理由になっているという認識は無い。
- ⑦業績回復すれば、2021 年度の定期昇給 2/4 を戻すという概念は今後も無い。

◎慎重な検討の上、回答したい。



J R バス 関東で働く仲間を一つに！